

介護人材不足の対応策

— 人材不足解決に不可欠な重要課題を理解・解決する方法を一挙に公開 —

ご案内

2025年に向けて30万人を超える介護人材不足が生まれると予測されています。現在、大都市部においては、質の良い介護人材が圧倒的に不足していると言われ、そのために有料老人ホームでの事件が起こるなど、早急に解決が求められています。しかし、これに対してどのような方法、方向性をもって介護業界は乗り越えればよいのでしょうか。本セミナーでは4名の講師をお迎えし、各方面の専門家にそのアイデアをご提供していただきます。外国人材の受け入れに必要なノウハウ、経営者の質の向上、介護職員の離職防止など、今後も介護保険事業を続けていく上で必要な重要課題一つ「介護人材不足」に重要視し、その課題解決の一助となるセミナーを開催します。

【第1部】 厚生行政出版会セミナー 10:00~11:30

◆外国人材の活用—EPAの現状を中心に— 角田 隆 氏 公益社団法人 国際厚生事業団 専務理事

昭和50年3月東京大学法学部卒。4月厚生省(現厚生労働省)入省
昭和58年4月から昭和61年4月まで外務省在メルボルン日本国総領事館領事
平成11年8月厚生省健康政策局総務課長、平成13年社会保険庁総務部総務課長
平成14年8月東京社会保険事務局長
平成19年10月公益社団法人国際厚生事業団専務理事に就任、現在に至る

日時：2016年11月18日(金) ・第1部 10:00~11:30 (開場 9:30)
・第2部 12:40~16:50 (開場 12:15)

会場：エッサム神田ホール1号館 (東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2)

参加費：第1部 5,000円 第2部 15,000円
(第2部第1講義は、別途資料が必要です/第2部は割引になる場合もございます)
共催：(株)厚生行政出版会・(株)ヒューマン・ヘルスケア・システム 第2部協賛：キングラン株式会社
企画：医療と介護の経営ジャーナル「シニア・コミュニティ」
問合せ：(株)ヒューマン・ヘルスケア・システム 東京都中央区日本橋横山町2-4 TEL:03-5640-2376 http://www.hhcs.co.jp/

【第2部】 ヒューマン・ヘルスケア・システムセミナー 12:40~16:50

◆介護離職防止に効果的な『セーフティケアの介護・看護』

— 介護職員の安全性や快適性が守られることで生まれる「離職防止」

上田 喜敏 氏 森ノ宮医療大学 教授

理学療法士。2007年3月まで箕面市に勤務し、子どものリハビリテーション、地域リハビリテーション、障害福祉課、介護保険訪問リハビリテーション、病院リハビリテーションなどを担当。同年より現職。福祉用具プランナー集合研修、リフトリーダ—養成研修、富山県介護実習・普及センターなどの講師を務める。国際患者介助人間工学委員会(IPPHE)日本代表。著書に『セーフティケアの介護・看護/腰痛を起こさない介助技術と福祉用具』(編著)など。

◆事例から学ぶ人材確保競争に勝ち残る介護事業の強み

— 介護人材確保は、どの企業も共通する2つの要因で決定

上岡 榮信 氏 一般社団法人 有料老人ホーム入居支援センター 理事長

1983年から27年間、厚生労働省や全国有料老人ホーム協会、高齢者住宅財団、民間企業と共に、国内外の高齢者施設・住宅を多数訪問。高齢者施設の多様な実態をつかみ独自に調査を始める。2010年(一社)有料老人ホーム入居支援センター設立。独自の基準に基づき施設の調査・格付けを行っている。良質な老人ホームを紹介し、依頼者の「終の棲家」選びを支援、入居後3年間のフォローも行う。視察・見学した高齢者施設・住宅は国内で1630、海外で600を数え、東京大学市民後見人養成講座の講師を務める。

◆離職率8%台の「人を残し 人を稼ぐ」その介護経営とは

— 経営者が介護事業の特質を正確に把握することで得られる「離職防止」

川田 英治 氏 有限会社 アンビション 代表取締役

2003年有限会社アンビション設立。2007年慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科修士課程修了。2011年同博士課程修了。同年、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員。茨城県水戸市で訪問介護、グループホーム、通所介護、ショートステイ、有償運送事業の会社を運営。横浜市で不動産事業会社3社を運営している。「介護ビジョン」「シルバー新報」「保険診療」などの介護・医療関連雑誌の他に、日本政策金融公庫当の金融機関の調査月報に寄稿している。

右記をご確認の上、お申込みください。

お申込み
FAX 番号 **03-5640-2373**

※2016年11月18日開催セミナー「お申込み項目」の口欄に、レ印を付けてください。

□ 第1部 5,000円	□ お弁当『1個』 1,500円 ※4	□ 第2部第1講義 資料代 『書籍購入』 2,160円 ※5
□ 第2部 15,000円	□ お弁当『2個』 3,000円 ※4	
□1・2部『両方受講』 20,000円 ※2		冊

雑誌「シニア・コミュニティ」を定期購読されていますか? ※どちらかに○をつけてください (※2)

A・はい B・いいえ → (1) 今回合わせて申し込み (2) 申し込みない

セミナーお申込書

貴社名	TEL	
	FAX	
ご住所 〒	—	
出席者名	部署・役職	お振込み予定日 (お申込みより2週間以内) 月 日
出席者名	部署・役職	お申込みご担当者名

- ※1.セミナーのタイトル、講師、各講義の演題、主な内容および時間は予定です。変更される場合がございますのでご了承ください。
- ※2.「シニア・コミュニティ」を定期購読されている方は第2部を10,000円とさせていただきます。(同法人2名まで)「シニア・コミュニティ」は毎奇数月15日発行、定期購読7,440円(送料税込)の雑誌です。新たに購読を申し込まれる方には最新号(2016年11・12月号:11/15発行)発送前に、セミナーご請求書と合わせて送付いたします。セミナー代金と合わせてご入金ください。
- ※3.ご請求書はお申し込み後順次発送いたします。お申し込み後3営業日以内に受付完了のFAXまたはお電話をさせていただきます。
- ※4.お弁当をご注文の方は、セミナー参加費と合わせてご請求させていただきます。
- ※5.第2部第1講義は、別途資料として弊社発行「セーフティケアの介護・看護/腰痛を起こさない介助技術と福祉用具」が必要です。既にお持ちの方は当日ご持参ください。2名でお申し込みいただいた場合も1人1冊とさせていただきますのでご了承ください。お申込みの方は、当日第2部資料と合わせてお渡しいたします。また、当日会場にて販売もさせていただきます。
- ※6.お申し込みの際にお客様より得た個人情報は、主催・共催・協賛の各団体が共有し、保管いたします。
- ※7.当社の個人情報保護方針についてはホームページ掲載のプライバシーポリシーをご覧ください。
- ※8.諸事情により開催を中止、または延期することがございます。予めご了承くださいませよう願ひいたします。
- ※9.今後、FAX配信停止をご希望の方は、お手数をおかけいたしますが、『FAX番号』をご確認の上、そのまま返信ください。